

[第77回企画展示]

祭りと印絆纏

2階
酒田の歴史と民俗資料



酒田市制施行60周年記念山車再現 中通り商店街

開館期間 平成5年9月22日(水)～11月23日(火)
開館時間 午前9時～午後4時30分
休館日 11月～3月 月曜日(月曜日が休日のときは翌日)
入館料 おとな100円・児童生徒50円
65歳以上の方と身体障害者の方は無料です

酒田市立資料館

酒田市一番町8-16 TEL (0234) 24-6544

開催にあたって



先人が遺した「酒田山王例祭図」には、藩や城下町の威信をかけた「祭り」とは違った町衆の「晴れ」の姿が克明に描かれている。絵は大人と子どもが一緒になって山車を引き、武士も女衆も混じえた楽しげな見物人など、身分の差別なく町中がこぞって祝う熱気となごやかさに満ちあふれている。そこでは商人や職人の印袴纏が一際よくにあう。白・紺・茶木綿に家紋・屋号などを染め抜いて、町人の意気と誇りをこめて、祭りの大きな輪を創り上げていった主役たちの晴れ着でもあった。

歴史の趨勢とは言え、豊かさの中で地域の連帯感がとみに薄れ、いたずらに観光行事化されていく今日、「祭り」とは何であったのか、古絵図は私たちに問いかけている。

展示目録

〈酒田市指定文化財〉

日枝神社大祭行列絵懸額(部分)

下日枝神社

明治壬辰(25年)秋日 加藤雪斎筆





酒田山王祭りの際、山車曳子の長着に描かれた染の道具



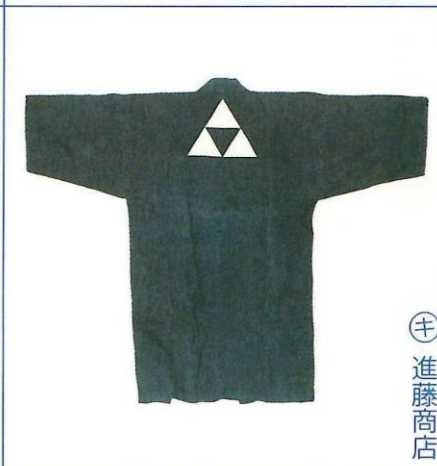
丸に右三階松紋



日本郵船株式会社



森重朗
実宮庫掛



⊕ 進藤商店



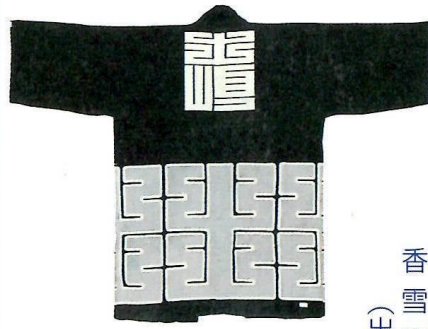
堀助回漕合資会社



大



大



香雪亭
(出嶋)



⑦ 佐藤薬舗



全吉田鮮魚部



冏 富樫商店



⊕ 藤井



柿田



濱益屋
(伊藤彌兵衛)



▼ 祭 下町町内会 他12領 齋藤 好司氏出品



下町町内会



東京軽電機



(株)カナヤ



池田 温雄氏

酒田まつり



荘内ガス



平田牧場グループ



酒田市消防団



明るく正しい選挙
酒田市



酒田水協



いずみ太鼓音頭
酒田市立泉小学校



酒田短期大学



日本電信電話KKK
NTT



しんちゃん
ヤマシン



むきそば
梅田食品